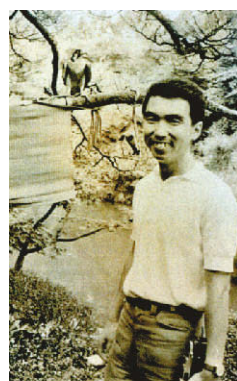


十一代目小川治兵衛氏(造園植治)のお話の会

「庭の養生について」



洛翠庭園臥龍渡（11代目小川治兵衛氏が復元）



小川治兵衛氏26歳のとき。画業をあきらめ、大学卒業と同時に家業を継ぐ。今年でちょうど50年になる。

十一代目小川治兵衛氏 略歴

- 1942（昭和17）年江戸時代から続く「造園植治」の九代治兵衛の次男として生まれる。本名雅史。
- 1962年 京都市立日吉ヶ丘高校特別美術コース日本画を卒業
- 1966年 京都市立美術大学（現京都市立芸術大学）卒業
在学中に新制作日本画本展および京展に入選。造園植治に勤務。造園一般に従事、植治流を研究する。
- 1970年 八代治兵衛より、十一代治兵衛を受け継ぐ。
造園植治十一代当主として現在に至る。
- 住友芳園、洛翠庭園など多くの庭園の作庭、復元、養生を手がける。
- 2004年 「植治の庭」を歩いてみませんか―洛翠庭園・無鄰庵庭園―（白川書院）を監修
- 2006年 平安女学院大学 文化創造センター 客員教授
- 2011年 「みやこの文化知事賞」受賞
- 2012年 京都府立林業大学 特別教授
- 2013年 アジア景観デザイン学会賞 特別賞受賞（自然回帰作庭理念に基づく一連の作品）

5月29日（日）午後一時〜参加無料
HOTEL 養生

京都市立芸術大学ギャラリーアークア内

庭の養生は心の養生。

楽しき庭には養生の粋が集まっています。

still moving on the terrace

Gardener UJI



七代目小川治兵衛 (1860-1933)

* 植治七代目小川治兵衛は、明治期に琵琶湖疏水の引き込みを活かして、無鄰庵、平安神宮をはじめとした南禅寺界隈の庭園群を一手に手がけ、従来の因襲的な日本庭園の形式を根底から刷新したことで知られる。